長洲町立長洲小学校　校長便り　No.１４９

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和６年１月２２日(月)

【雑感】

新しい年に入り、既に22日が過ぎました。早いですねぇ。

さて、ある町の成人式にて。

成人代表の挨拶でこんなお話がありました。「私の小学生時代の夢はプロ野球選手になることでした。でも、今は柔道整復師を目指して頑張っています。」この方の夢は途中で変わってしまったのですね。でも、新たな目標を見つけて更に努力を続けているのです。私も同じ経験をしました。小学生時代の夢はたくさんありましたが、形を変えていき、努力の方向を修正しながら、そして今があります。夢を諦めることや挫折が数回ありましたが、その度に何とか持ちこたえました。それは、後悔したくない、生きていくための証が欲しい、言葉では説明できない不安を物理的な活動によって拭い去りたいという気持ちだったように思います。

私はその成人式でお話しさせて頂いたのですが、その中で「どんな時も前進する努力を」ということ、「責任の矛先は自分に」ということをお伝えしました。成人するということはすべてにおいて自己責任であることを自覚して頂きたいということです。読者の皆様はどのような人が成人というのか、明確に答えることはできますか。成人の年齢が18歳に引き下げられ、自分自身の18歳から20歳までの時間を振り返ると大人の自覚はなく、精神的には全くの子供だったように思います。今思うに、大人とは「自由と権利」、「義務と責任」を正しく理解し、実践できる人なのではないかと思います。私は今でも精神的に大人になれていない部分が残っている様なので、特に大人の「責任」については振り返る時間を持つようにしています。

卒業前雑感　～卒業式～
当たり前が当たり前でなくなる日

年が変わり、卒業も現実味を帯び、6年生にもそれを自覚してもらい、残り少ない小学校生活を、しっかり味わいながら過ごして貰いたいものです。

私は熊本市立城北小学校に入学しましたが、4年生からは麻生田小学校という新設校に通うようになりました。城北小学校がマンモス化（児童数1800人）したため、麻生田小学校ができた場所はもともと野原で、よく遊んでいたところでした。丈の高い草木が多く、大きなカエルも多い土地でした。その土地を利用して、大きな校舎、運動場ができた訳ですね。私は5年生の時に新校舎に入りましたが、その廊下の広さ、新築の校舎のにおい、今でも何となく覚えています。しかし、運動場が大変です。私達の体育の時間は持久走か運動場作りでした。運動場は運動ができる状況ではなく、ほぼ毎日草取りと石拾いだったことを思い出します。また、当時から私もじっとしているタイプではなかったようで、よくけんかもしました。けんかや遊びの中でできた傷が、今、子供達に話すことのネタになっています。何気ない日常がとても思い出深く、現在でも私の心の中にしっかりと残っています。しかし、あの当たり前だと思っていた日常が、卒業式を境に当たり前でなくなるのです。卒業が近くなってくると、小学生だった私にも何となくそのことが分かるんですよね。その頃、一日一日をかみ締めるように学校に通ったことを思い出します。卒業式は一つの節目ですが、それでも友達や恩師との別れは、ほろ苦いものです。

卒業式、泣いても笑ってもその日はやってきます。それまでに、後悔のないように、子供達が主体的協働的に活動し、多くの思い出を残すことができるようにしていきたいものです。

シリーズ「自分を語る」#１４９

平成29年度6月、個人的な事件が起きました。自家用車購入です。

平成29年6月は、愛車の車検でした。車をディーラーに持っていき、車検の見積もりを出して貰ったのです。当時、既に走行距離は25万㎞を越えていました。ある程度の出費は覚悟していたものの、実際に見積書を見てみると…、「わ～ぉ！」　普通に考える車検費用の4倍の費用がそこに書いてありました。確かに運転中に異音がしていましたし、燃費も良いとは言えませんでしたので、購入を考え始めました。しかしながら、今の車は高いですね。実際の価格をここに書くことは控えますが、購入を決めるまで色々考えました。今回まで車検を通して次を考えるか、あるいは中古車を購入するか、はたまた通勤距離を考えるとハイブリッド車が現実的か？　当時、うちの家族は私を含め7人ですので、次回もワゴン車が妥当だと判断しました。

荒尾までの通勤は片道37㎞です。最低でも往復74㎞で、1週間で360㎞、1か月で1500㎞です。ガソリン車で走った場合、燃費を10㎞とすると150ℓ、一ℓ145円とすると21，750円です。1年で261，000円！　ハイブリッド車では当時の燃費（カタログ値）は23．8㎞、これで1月にかかるガソリン代を計算すると、何と9，138円でした。一月12，500円の差が出ます。1年間では…。私は大体10年間は確実に乗りますので、コスト面を考えると、購入の決断がベストだとなりました。

購入を決めても、すぐに納車されるものではありません。待っている間は、それまでに乗っていた車を愛おしむようにして乗りました。25万㎞ですからね。しかもその車は我が家の双子の誕生と共に家にやってきました。そして、熊本地震の時は数日に渡って車中泊した、文字通り我が家でしたから。納車までの数日間は、家族全員を乗せて、両親の実家である益城町や西原村をドライブしました。また、写真も撮りました。ありがとうという気持ちで一杯でしたね。

いよいよ納車当日です。納車当日ということは、それまでに乗っていた車とのお別れの日でもあります。納車当日は、私と両親3人でディーラーへ。自宅を出る時、母はくたびれたワゴン車を手で撫でながらこう言いました。「よ～と世話なったな…。」　それを私も聞いていたのですが、不覚にも私も同じ気持ちで涙がこぼれそうになりました。

我が家の一員新しい車がやってきて、少し自宅が華やいだ感じでした。早速、妻と子供達を乗せて、自宅周辺をウロチョロ。強烈に音が静かだったことを鮮明に覚えています。

何でも、愛着は大切ですよね。長く使っているともう体の一部みたいになってきます。今乗っている車も既に7年が過ぎようとしていて、走行距離は15万㎞まであと僅か。そして家族の多くの思い出が詰まっています。目指せ、30万㎞!!　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）